

(対象期間：2019/5/6～2019/5/10)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年5月10日)



【株式市場】

5日、トランプ米大統領が対中関税強化を表明し、週明けのインドネシア株式市場は下落して始まりました。その後も、10日の関税強化の発動期限を前に上値の重い展開となり、週間でも下落しました。6日に発表されたインドネシアの1-3月期のGDPは前年同期比+5.07%と前期から減速しました。選挙関連の支出やインフラ投資の推進などを背景に政府消費は増加しましたが、選挙を控えた買い控えなどが減速の要因となりました。

2019/5/3	2019/5/10	変化率
6,319.46	6,209.12	-1.75%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年5月10日)



【債券市場】

トランプ米大統領が対中関税強化を表明し、リスク回避の動きが強まる中、10年国債は週初から弱含みとなりました。7日に行われた国債入札では、応募倍率が低水準となり、債券市場は上値の重い展開が続きました。一方で、10年国債利回りが8%を越えると投資家の需要も見られ、米中通商協議の継続期待から週末には買い戻しの動きとなり、週間では利回りは上昇（価格は下落）しました。

2019/5/3	2019/5/10	変化幅
7.880	7.995	+0.115

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年5月10日)



【為替市場】

ルピアは対円、対米ドルともに下落しました。米国の対中関税引上げの表明や、米中通商協議を巡る不透明感の高まりから、リスク回避の動きが強まり、ルピアは下落しました。また、配当支払などを背景とした実需の米ドル買い需要なども見られ、上値の重い展開となりましたが、米中通商協議の継続期待から、週末にかけて買い戻しの動きも見られました。

2019/5/3	2019/5/10	変化率
0.7807	0.7645	-2.08%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ